

Q 4 特別活動の全体計画を作成する際に、どのようなことに留意すればよいか。

A : 特別活動の全体計画とは、特別活動の目標を調和的かつ効果的に達成するために各学校が作成する、特別活動の全体の計画のことである。

特別活動の全体計画を作成する際には、全教師が指導に当たるため、全教師の共通理解と協力体制が確立されるよう、例えば、各学校における特別活動の役割などを明確にして重点目標を設定したり、各活動・学校行事の内容を示したりすることが大切である。また、特別活動に充てる授業時数や設置する委員会（校内組織）、クラブや実施する学校行事等を明らかにしておくことが大切である。さらに、児童生徒の実態を十分把握するとともに、児童生徒の発達の段階や特性を生かすようにし、教師の適切な指導の下に、児童生徒の自主的、実践的な活動が助長できるような全体計画を作成することが求められる。この全体計画に基づいて、各活動・学校行事の指導計画を作成することになる。

参照：小学校学習指導要領解説特別活動編(P.105～)、中学校学習指導要領解説特別活動編(P.93～)

特別活動全体計画（小学校の例） 次ページ

Q & A 備考の全体計画（Excel）から、エクセル形式の全体計画（小学校の例）がダウンロードできます。

平成 年度 特別活動 全体計画

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 小学校教育課程編成の手引き その他の法令 等	学校の教育目標 1 () 2 () 3 ()	地域社会の実感 () 学校の実感 (児童数 名、 学級、教職員 名、開校 年) 児童の実感 () 保護者の願い () 教師の願い () 等
--	------------------------------------	--

その他の教育活動 朝の会や帰りの会(生活指導、話し合い) () タイム(学級の時間、()曜日放課後) タイム(開週()曜日、業間活動) 縦割り班活動 縦割り給食 当番活動(直給食、湯沸、その他) ロング休みグループ活動 地域との関連教育相談 等	外国語活動 コミュニケーション能力の育成 異なる文化の人々との交流 等	総合的な学習の時間 自然体験、社会体験の重視 宿泊学習での現地学習 老人ホームでの体験学習 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に関わり合う態度 自己の生き方を考える 等	特別活動 目標 望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。 重点目標 1 集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的な話し合いの力を育てる。 2 生活の基本的行動様式を身に付け、社会性の育成を図る。 3 相手の立場を理解し、認め合うことを基本として、望ましい人間関係を育てる。 重点目標を達成するために全校で取り組むこと 学級目標を具現化する系統的な話し合い活動の指導(組織・進め方)の充実 異年齢集団による交流活動の充実 学級活動コーナーの設置 等	道徳 自立心や自律性、生命を尊重する。 【低】() 【中】() 【高】() 等	各教科 言語活動、伝統文化、体験的な活動の重視 等	児童指導 自己指導能力の育成 思いやりと規範意識 等
---	---	--	---	---	------------------------------	----------------------------------

学級活動 学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 [指導の方針] 自らよりよい生活を築くために合意形成をする話し合い活動や自分たちでルールをつくって守る活動、責任感や自尊感情を高める活動を重視する。 1 学年：3・4時間 2～6年：3・5時間	児童会活動 児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 [指導の方針] よりよい学校生活を主体的に築くための話し合い活動や集団への寄与など自治的能力の育成を重視する。等 1～3学年：()時間 4学年：()時間 5・6学年：()時間	クラブ活動 クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として望ましい生活づくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 [指導の方針] 個性を伸長し、楽しい学校生活や人間関係を築く力の育成を重視する。等 4～6学年：()時間	学校行事 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 [指導の方針] 学校への所属感や連帯意識を深め、共同の意義、自然や文化の大切さを実感できる体験活動を重視する。等 1 学年：()時間 2 学年：()時間 3 学年：()時間 4 学年：()時間 5 学年：()時間 6 学年：()時間
--	--	---	---

学級活動の内容 学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。 (1) 学級生活の向上 (2) 学級生活の向上	児童会活動の内容 学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動。 学年 児童会の計画・運営 異年齢による交流 学校行事への協力の向上 第一学年 1年生を迎える会、お楽しみ会、集会、6年生を送る会 等 第二学年 3年生～6年生(集団宿泊活動) 6年生(修学旅行) 等 第三学年 毎月第()曜日()校時 児童会計画委員会が進行 学級代表()人、自委員会委員長()人等 第四学年 毎月第()曜日()校時 学級代表()人、自委員会委員長()人等 第五学年 毎月第()曜日()校時 学級代表()人、自委員会委員長()人等 第六学年 毎月第()曜日()校時 学級代表()人、自委員会委員長()人等	クラブ活動の内容 学年や学級を離れ、第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味関心を目指す活動。 学年 クラブの計画・運営 クラブを楽しむ活動 クラブの成果の発表 第一学年 1年生～6年生(満足、運動会、学習発表会) 5年(海浜自然教室) 第二学年 3年生～6年生(集団宿泊活動) 6年生(修学旅行) 等 第三学年 毎月第()曜日()校時()時間 等 第四学年 毎月第()曜日()校時()時間 等 第五学年 毎月第()曜日()校時()時間 等 第六学年 毎月第()曜日()校時()時間 等	学校行事の内容 学年 儀式() 文化() 体育() 交通安全() 遠足() 運動会() 勤労生活() 第一学年 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 第二学年 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 第三学年 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 第四学年 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 第五学年 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 第六学年 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間
--	---	--	--

(1)学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団生活の向上 (2)日常の生活や学習への適応及び健康安全 ア 希望や目標をもって生きる態度の育成 イ 基本的な生活習慣の形成 ウ 望ましい人間関係の形成 エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意味の理解 オ 学校図書館の利用 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい生活習慣の形成	組織・時間・担当等 計画委員は輪番制とし、学級の子で組織する。 学級担任教師が指導に当たる。 係活動や集会活動は、児童の発達の段階を考慮し創意工夫する。等 共通事項の内容を関連付けたり、統合したりして、精選する。 必要に応じて教諭、司書教諭、地域のの方々などの協力を得て指導に当たる。等 活動内容(1)と(2)に配当する時間 【学年(1):(2)】 1年 ():() 2年 ():() 3年 ():() 4年 ():() 5年 ():() 6年 ():() 等	学校生活に関する諸問題について話し合い、解決するための活動(代表委員会)4～6年：()時間 学校内の自分たちの仕事を分担・処理するための活動(委員会活動)5～6年：()時間 児童会の出発式、班遊び、運動会のローガン決定や応援合戦 等 10回のショート集会を実施する。七ヶ集、ふれあいフェスティバル、6年生を送る会、代表委員が、代表委員となって行う。等 年次始めに、組織・計画について話し合い、決定する。 クラブ長、書記の選出 各学級の終わりに振り返りを行い、次の学期に生かす。等 (設置するクラブ) スポーツ、調理、室内ゲーム、茶道、手話、コンピュータ、伝統芸能、英会話、工作、手芸 等 年次始めに、組織・計画について話し合い、決定する。 クラブ長、書記の選出 各学級の終わりに振り返りを行い、次の学期に生かす。等 (設置するクラブ) スポーツ、調理、室内ゲーム、茶道、手話、コンピュータ、伝統芸能、英会話、工作、手芸 等	留意点 体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめた後、発表したりするなどの活動を充実することにより、言語能力の育成を図ったり、体験したことからより多くのことを学ばせたりする。 行事名 入学式、始業式、卒業式、修了式等 学級発表会、演劇鑑賞会、音楽会、伝統芸能発表会等 運動会、健康診断、避難訓練、交通安全教室、修学旅行、防犯教室等 全校縦割り活動、老人ホーム訪問交流、取組、掃除、プール清掃等
--	---	--	---

評価 対象 指導計画、指導方法及び活動や展開の過程 集団の変容 個人の変容 等 評価計画の内容 いつ、どこで(時期、段階) だれが(主体) 何を(対象・内容) どのようにして(方法) 何のために(結果の活用目的) 評価方法..児童による自己評価、児童による相互評価、教師による観察法 等
--